

五色池通信

253 2005年7月6日発行

中土手に自然を戻す市民の会

東京都江戸川区東小松川 3-35-13-204

〒132-0033 Tel 3654-7240 Fax 03-3654-9188

ホームページ: <http://www.cleanaid.jp/nakadote/>



6.19 遊んだ後で全員集合

7月17日(日) 中土手で遊ぼう

10:00 ~ 2:00

弓矢で遊ぼう！

ザリガニを釣ろう！

ミニヨシズを作ろう！

持ち物：おにぎり、トン汁の具、おわんとはし、
水筒（飲み物） よごれてもいい服とクツ、帽子

6月19日、えどがわエコセンターの「自然学校」
として、江戸川区の広報にも案内を載せたところ、参
加申込が殺到し、定員の40名を超えたためにお断りした人もいます。お断りした方には、毎月のよ
うに実施していることと7月にも実施することをお伝えしました。今回は、特に事前申し込みや人数
制限をしていませんので、自由にご参加ください。

前回は、いつも参加している家族も含めて60数人の参加
となりました。最初に参加者全員で、ゴミ拾い・クリーンエ
イドを実施。初めての家族は小学校低学年から幼児の親子連
れが多く、最大のお目当てはザリガニ釣りだったようで、午
前中は親子でザリガニ釣りに興じていました。

みんなで作ったトン汁で、お昼を食べた後、子どもたちは、
弓矢に熱中していました。学生時代に弓道をやっていたとい
うお父さんもいて、みんなで教えてもらいました。



お父さんに弓矢を教えてもらう子どもたち



大きなザリガニを獲って得意そうな二人

「たった一つの地球・生き物たちは知らない」

大杉小4年生 公開授業での感想

6月17日、大杉小学校で学校開放があり、佐藤がゲストティーチャーで4年生2クラス合同で「道徳」の時間に荒川の話をしました。はじめにNHK教育番組の『たった一つの地球・生き物たちは知らない』のビデオを見てもらい、その後、荒川のゴミとそこでクリーンエイドを行なうことの意味について話をしました。3年生のときから、荒川中土手探検を行ない、そのつど「クリーンエイド」を行なっている子どもたちなので、非常に真剣に受け止めてもらえたと思いました。後日、担任の高瀬先生から、子どもたちからのお手紙をいただきましたので、そのいくつかをここに紹介します。

佐藤さんへ

わたしは佐藤さんのお話とビデオを見て、人はなぜゴミを捨ててしまうのだろう、たった一つだけの地球をこわしているのは自分たちなのにどうしてそれに気がつかないのだろう、と思いました。地球は生き物みんなのもの、魚たちが死ねば、自分たちも死んでしまうのに、人間は自分たちのゆたかなかんきょうを作るだけ作ってかんきょうをこわしてしまっているのと思いました。わたしはクリーンエイドはきらいでした。でも、これからはしっかりがんばっていきたいです。さとうさんどうもありがとうございました。

はるか

佐藤さんへ

いつも荒川たんけんなどに来てくれてありがとうございます。道徳の時間には「生き物はゴミでまわっている」という内ようを詳しく話してくれたおかげで、あらためて自然を大切にしようと思いました。荒川キャンプは、わたしにとって初めてのキャンプでした。でも楽しく自然と触れ合うことができ、とても幸せでした。これもすべて、佐藤さんがいてできたことです。本当にありがとうございました。

くるみ

さとうさんへ

さとうさんは、あらかわのゴミをひろって生物の命を守っているんだなと思いました。ぼくたちもあらかわに行った時、ゴミをいっぱいひろおうと思います。あとポイ捨てなどしないようにゴミを持ち帰ろうと思います。

りょうすけ